



**和歌山運輸支局 輸送・監査部門
運輸企画専門官
【事務官】令和2年12月入局**

略歴

令和2年12月 大阪運輸支局 輸送部門

令和4年4月 独立行政法人自動車技術総合機構
和歌山事務所 登録確認調査員

令和5年4月 総務部 安全防災・危機管理課

令和6年4月 和歌山運輸支局 輸送・監査部門
運輸企画専門官

近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

幼き頃から鉄道やバス等の公共交通機関を毎日のように利用していたため、「交通」自体が身近にあったことや、旅行や観光地巡りが好きなので、近畿運輸局が交通業務や観光業務に携わっていることがきっかけで業務説明会に参加しました。

他の官庁とも並行して採用活動を進めていたため、こういった仕事をするのかは漠然としていて比較し辛かったのですが、一緒に働いていく職員人柄の良さで、一番自分に合っていると感じた近畿運輸局に入局することを決めました。

現在はどんな業務に携わっていますか。

バスやタクシー等の「旅客」に関する業務を担当しています。一概にバスやタクシーと聞くと単純業務に見えるかもしれませんが、実はかなり奥が深いです。地域性が顕著に表れるため、例えば大阪や京都といった都市部と和歌山では交通課題が違い、旅客業務の取り組み方も変わってきます。

和歌山は、乗客の減少や運転者不足に伴うバス路線の廃止や交通空白地域での運送手段の確保、市民・町民のニーズに答える運送等の様々な課題が付きまといます。これらの課題を解消するために地方自治体や旅客事業者に対して、法律的な知見から助言を行い、より良い地域公共交通の実現を目指して日々取り組んでいます。

これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

地方自治体や旅客事業者と共に地域住民や観光客が不自由することなく利用していただける地域公共交通を考え実現できるようにする、現在携わっている業務です。



官公庁で働く事務官の仕事のイメージは、デスクワークがメインと思われるかもしれませんが、もちろんデスクワークの仕事が一番多いですが、職場から公共交通事情の把握のために現地へ確認に行くことや、各地方自治体が主催する地域公共交通に関する会議に参加し、関係者と直接話をする機会があります。

特に最近では、白タク撲滅に向けた啓発活動を和歌山県の観光地各所にて実施していて、初めての観光地に行ったりすることで新しい発見があります。

近畿運輸局の魅力って何だと思いますか？

やはり、業務の幅が広く、どれも私たちの生活に欠かすことができない物流や交通を支える仕事ができるのが魅力ですね。

ただ、個人的に一番魅力だと思っている点は職場へのアクセスの交通利便性です。他官庁では異動の度に引っ越しを伴うことがほとんどですが、近畿運輸局は、ほとんどの勤務地(支局)に自宅から通うことが可能ですので、パートナーを見つけたり、マイホームを購入したりする等の人生設計を立てやすいです。もちろん、あまりにも自宅から遠い場所(例:和歌山住み、滋賀勤務)に、通勤することがないよう配慮もしていただいていますので、ご安心を！

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

「絶対行きたい官庁」、「なんとなく興味のある官庁」、「一応おさえておく官庁」等自分の中である程度志望順位を決めていると思いますが、なるべくたくさんの業務説明会や官庁訪問に参加してみてください。

細かい仕事内容等の情報を得ることができるのはもちろんですが、職場の雰囲気や職員の人柄を感じることができる唯一の機会です。

これを見ている、近畿運輸局に「一応おさえておく官庁」以上の志望度をお持ちのあなた、是非職場の雰囲気や職員の人柄を感じてみてはいかがでしょうか。皆さまと一緒に仕事をする日を楽しみにしています！

